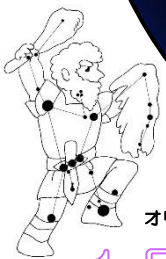
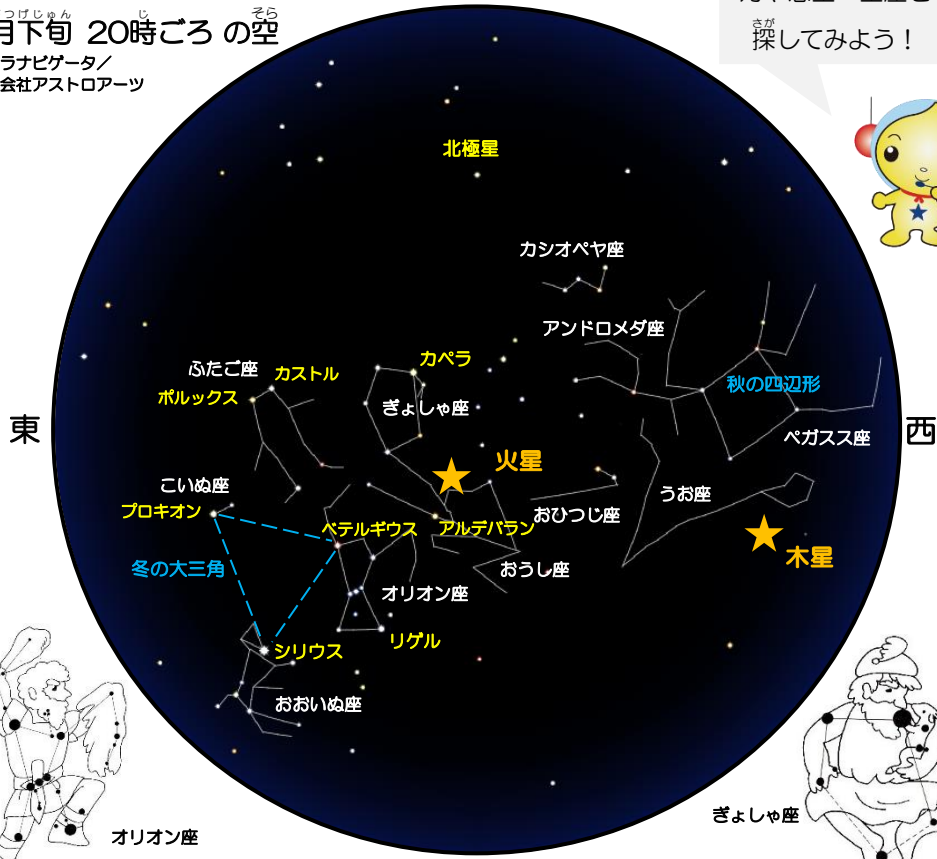


# 2023年 月刊 星空の散歩道 1月号

1月上旬 21時ごろ  
1月下旬 20時ごろの空  
ステラナビゲータ/  
株式会社アストローツ

北

月や惑星・星座を  
探してみよう!



## 1月の星空

### ☆夜空の主な星座と明るい星☆

西の空に秋の星座が見え、南と東の空に冬の星座が見える。

- < 西 > ペガスス座、アンドロメダ座
- < 天頂 > おうし座 (アルデバラン)、ぎょしゃ座 (カペラ)
- < 南 > オリオン座 (ベテルギウス、リゲル)、おおいて座 (シリウス)
- < 東 > ふたご座 (カストル、ポルクス)、こいぬ座 (プロキオン)
- < 北 > 北極星、カシオペア座

### ☆天文トピック☆

1月4日 しぶんぎ座流星群  
三大流星群のひとつ。ピークは4日12時頃と予想されています。観察には4日明け方をおすすめですが、出現流星数は年によってばらつきがあります。

1月26日 月と木星が並ぶ  
月の近くに明るい木星が見えます。

1月31日 月と火星が並ぶ  
見頃の火星が月と並んで見えます。冬の一等星も一緒に観察してみましょう。

### ☆月の形の変化☆

- 1月7日 満月 ○
- 1月15日 下弦 ◐
- 1月22日 新月 ●
- 1月29日 上弦 ◑

### ☆1月の惑星☆

- 火星…日没後、東の空
- 木星…日没後、南西の空
- 土星…日没後、西の空低く (上旬)

## <天文コラム> ISSに若田宇宙飛行士滞在中

宇宙飛行士が常駐する宇宙の拠点であるISS (国際宇宙ステーション) に、日本人は2022年9月までに合計17回滞在中、滞在中は1625日に及びます。2022年10月には18回目となる若田光一宇宙飛行士の長期滞在中が始まりました。若田氏自身は8年ぶり5回目で、およそ6か月ISSで過ごし、様々な科学実験を行う予定になっています。

その一つに、「宇宙フライトが及ぼす加齢への影響」を調べる実験があります。宇宙での微小重力環境では、体を支えるための力がなくなるなど力学的な刺激が低下し、骨や筋が萎縮します。これは高齢者が抱える様々な問題と類似しているのです。そこで、線虫というモデル生物を使って、老化が加速するメカニズムを調べようとしています。この実験で超高齢化社会での健康維持に役立つ知見が得られるのではないかと期待されています。

また11月には、世界的な指揮者・小澤征爾氏によるオーケストラの演奏が、YouTubeでISSの若田氏にライブ配信されました。オーケストラの生演奏の様子が宇宙に届けられるのは、世界で初めての試みでした。

これからもISSから発信されるバリエーション豊かなニュースに注目していきましょう。

